

地域銀行の令和5年3月期決算の概要

1. 損益の状況（銀行単体ベース）

○ 令和5年3月期の当期純利益は、債券等関係損益が悪化したものの、株式等関係損益の増加や、与信関係費用の減少等により、前年同期に比べ、2.7%の増益。

（単位：億円）

	R3年3月期	R4年3月期	R5年3月期	前年同期比
業務粗利益	41,692	42,195	38,330	▲ 3,865
資金利益	36,473	37,438	37,851	413
役員取引等利益	5,458	6,038	6,387	349
その他業務利益	▲ 283	▲ 1,317	▲ 5,955	▲ 4,638
うち、債券等関係損益	▲ 854	▲ 1,893	▲ 6,385	▲ 4,492
経費	▲ 29,361	▲ 28,836	▲ 27,988	848
実質業務純益	12,330	13,359	10,342	▲ 3,017
コア業務純益	13,184	15,252	16,818	1,566
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）	12,167	14,568	15,893	1,325
与信関係費用(※)	▲ 4,472	▲ 3,217	▲ 1,779	1,438
株式等関係損益	2,378	1,621	3,222	1,601
当期純利益	7,082	8,542	8,776	234

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

	R3年3月期	R4年3月期	R5年3月期
貸出金（末残）	291.9兆円	298.8兆円	312.7兆円

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

○ 不良債権残高は令和4年3月期に比べ増加したものの、不良債権比率は低下。

	R3年3月期	R4年3月期	R5年3月期
不良債権残高	5.3兆円	5.5兆円	5.6兆円
不良債権比率	1.78%	1.81%	1.76%

3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

○ 国際統一基準行の総自己資本比率、国内基準行の自己資本比率ともに令和4年3月期に比べ上昇。

（国際統一基準行：R4年3月期 11行、R5年3月期10行）

（国内基準行：R4年3月期 89行、R5年3月期 90行）

	R4年3月期	R5年3月期
総自己資本比率	13.41%	13.90%
Tier1比率	12.93%	13.50%
普通株式等Tier1比率	12.93%	13.50%

	R4年3月期	R5年3月期
自己資本比率	9.71%	9.98%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）R3年3月期の集計対象は101行（地方銀行62行、第二地方銀行38行及び埼玉りそな銀行）

R4年3月期の集計対象は100行（地方銀行62行、第二地方銀行37行及び埼玉りそな銀行）

R5年3月期の集計対象は100行（地方銀行62行、第二地方銀行37行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。